

■タイで日本人が駐在するには(VISA/WP) ■

こんにちは。

島根・ビジネスサポート・オフィス担当の藤井邦夫です。

11月は県職員のタイ・インドネシア・ベトナム視察のアテンド・同行などの業務がありました。本視察は、各国の既に進出されている県内企業の皆様に拠点及び私の紹介を行い、今後の現地でのサポート体制を構築する事が目的でした。私自身多くの県内企業の皆様にお会いする事で、本業務の使命感や遣り甲斐を感じる良い経験となりました。今後は、何かありましたら、気軽にご相談いただけたらと考えております。

日系企業が海外進出を検討する際は、外資規制をまず把握する必要がある事を前月のレポートで説明させていただきました。外資規制の確認後、海外進出を決めた場合には、駐在する日本人の規制や要件などを確認する必要があります。当然ですが、日本人は他国では外国人となります。そのため日本では、考える必要がなかった問題（滞在・労働許可）に直面します。

今回は、タイで日本人が駐在するには（VISA/WP）についてご紹介させていただきます。タイ国内に長期滞在するためにはビザが必要です。ビザとは「滞在許可のようなもの」と認識していただけたいと思います。日本人の場合、タイに入国すると30日の滞在許可が自動的にもらえます。通常の旅行者ですとその期間内に出国するのでビザとは無縁なのですが、長期に滞在しようとした場合、ビザの存在を知らないと不法滞在者になってしまいます。駐在する方は当然30日以上滞在しますので、就労ビザを取得する必要があります。この手続きは、タイ入国前に日本のタイ大使館で申請をする必要があります。

また、タイに入国した外国人が就労する場合には、労働省雇用局で労働許可（WP：ワークパーミット）も取得する必要があります。つまり、タイの駐在員の方は、ビザ・WPを両方取得する必要があります。たまに、ビザとWPを混合している方を見受けますのでご注意ください。

ビザ：外国人がタイに滞在するために必要な許可証

WP：外国人がタイで就労するために必要な許可証

このビザ・WPの更新条件に、月給5万バーツ以上であることや外国人1人につき常勤のタイ人4名いること、会社の払込資本金が外国人1人につき200万バーツ以上であることなどの要件があります。資本金やタイ人雇用の条件がありますので、想定していた常駐させる日本人の人数と必要な資金・コストを考慮して駐在者・人数を検討する必要があります。なお、BOIを取得している会社については、非経済的恩恵として許可を受けた人数分の外国人のビザ・WPが可能となりますので、上記条件が適用されませんのでご注意ください。

今回はビザ・WPの詳細な申請必要書類や手続きについては説明を省略させていただきます。ビザ・WPの申請・延長等について不明点等がございましたら、メールにてお問い合わせ下さい。

☆☆タイから便り☆☆

～膝の靭帯を切断し、タイで手術しました。～

恥ずかしい話ですが、11月末の運営法人の社内運動会に参加し、競技中に足がもつれ転倒し右膝を強打してしまいました。翌日になっても、痛みがとれず、膝が抜けるような感覚があったため念のため、日本語対応が出来るサミティベート病院に行き診察を受けたところ右膝前十字靭帯断裂との事で、翌日手術を受ける事になりました。手術後、日常生活復帰に約1か月、スポーツ復帰に約6～9か月を要するそうです。

内視鏡により靭帯の再建手術を行っていただきました。（手術時間2時間・下半身ブロック麻酔）

医師の診察時には、日本語通訳の方がついて説明をしていただけたので症状や不明点は確認することが出来たので、不安感はほとんどありませんでした。（但し、看護婦やリハビリの方は通訳がつかないので、英語での対応となります。薬を飲んだり、血圧を測ったりする程度なので問題ありませんが）リハビリ（松葉杖の使い方）・麻酔が抜ける事・術後の状況を確認するために手術後1泊病院に入院いたしました。

病室は個室で、現在自分が住んでいるアパートの部屋より広く・快適な環境でした。病院食も複数から選択でき日本食もありました。看護婦さんも丁寧な方が多く、入院生活自体には不満はありませんでした。なお、気になる一連の代金（手術・入院費用）はおおよそ35万THB（約125万円）ほどです。自己負担額は、公的保険のある日本に比べさすがに高いですが、それを保険等で補填できる手段があれば外国人でも不安感なく、快適に医療の提供を受ける事が出来ることを体感いたしました。タイは、このように外国人対応ができる病院がいくつもあり、東南アジアでは、シンガポールと同様、医療先進国です。

皆様も海外に行かれる際は、忘れずに海外旅行保険に加入するようにして下さい。

島根・ビジネスサポート・オフィス Shimane Busuiness Support Office(Bangkok)

担当；藤井 邦夫 Kunio Fujii

Address :1 Glas Haus Building, 12 FL., Room 1202/D, Soi Sukhumvit 25,
Sukhumvit Rd.,Klongtoey-Nua,Wattana,Bangkok 10110

Tel :+66-(0)-2-261-10588

Mobile : +66-(0)-89-200-7763

Mail : shimane-bizsup@aapth.com



お気軽にご連絡ください。

当拠点の運営法人(島根県より業務委託)

■アジア・アライアンス・パートナー・ジャパン株式会社 <http://www.aapjp.com/index.html>

タイを中心に、ベトナム・インドネシア・インドにて主に日系中堅・中小企業様のアセアン進出や進出後の会計税務法務を中心とした運営支援業務を行っております。

ワンページタイ経済

項目	単位	2011	2012	2013	2014
GDP 成長率	前年比ベ(%)	0.1	6.7	2.90	0.2(1-9月)
人口*	千人	67,720	68,035	68,382	67,029(10月)
労働者の数*	千人	39,785	39,821	39,808	38,472(11月)
失業率**	%	0.66	0.66	0.72	0.86(11月)
最低賃金* バンコク	パーツ/日	215	300	300	300
チョンブリー		196	273	300	300
アユタヤー		190	265	300	300
ラヨーン		189	264	300	300
賃金:全国製造業の平均	パーツ	8,398	10,159	11,066	12,023(9月)
インフレ率**	前年比ベ(%)	3.80	3.00	2.19	2.16(9月)
中央銀行政策金利*	%	3.25	2.75	2.25	2.00(10月)
普通貯金率**	%	0.79	0.75	0.68	0.55(10月)
ローン金利(MLR) **	%	7.10	7.29	7.16	6.97(10月)
SET 指数*	1975年:100	1,025.32	1,391.93	1,298.7	1,584.16(10月)
パーツ/100円**	パーツ	38.27	38.98	31.53	31.34(10月)
パーツ/米ドル**	パーツ	30.49	31.08	30.73	32.41(10月)
円/米ドル**	円	79.62	79.79	97.6	103.45(10月)
車販売台数(1月からの累計)	台数	812,655	1,428,628	1,337,631	674,769(9月)
BOI 認可プロジェクト	件数	1,652	2,262	2,016	1,326(1-10月)
BOI 認可プロジェクト金額	10億パーツ	447.3	983.9	1,027.3	526.5(1-10月)

*期末、**平均